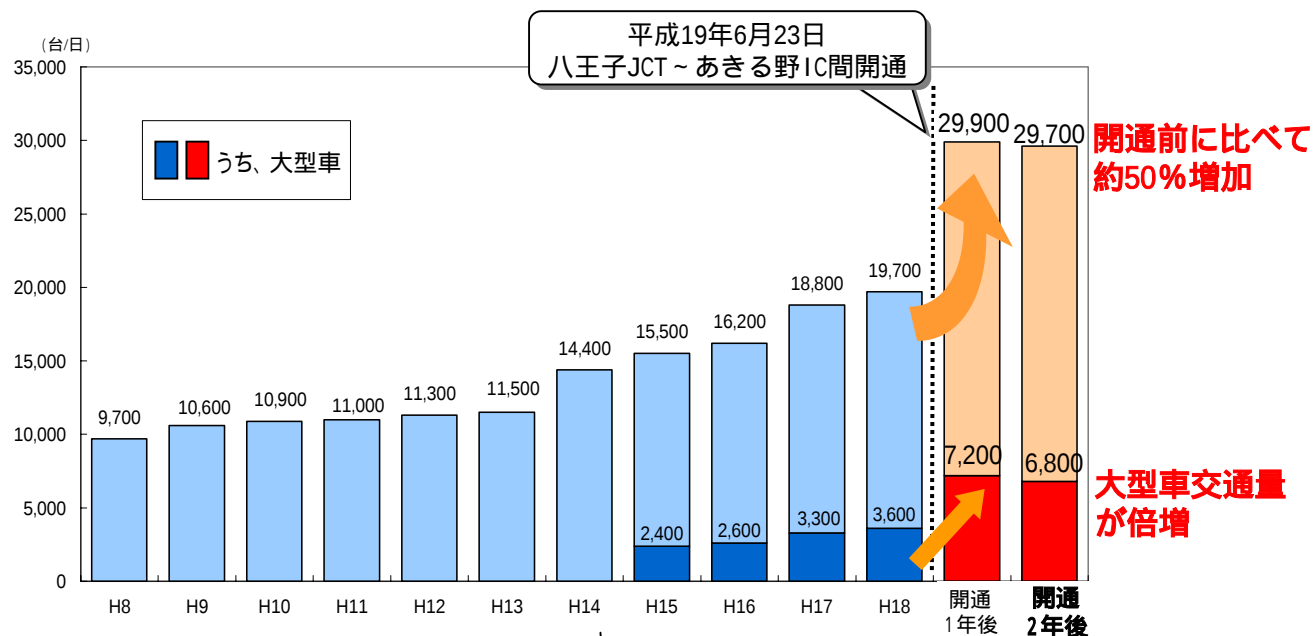


- 圏央道の開通に伴い増加した交通量が継続しており、利用者の定着がみられます。
 - ・ 圏央道の利用交通量は、平成18年度平均19,700台/日から開通2年後平均29,700台/日に約50%増加(青梅IC～入間IC) [開通2年後とはH20.7～H21.6]
 - ・ このうち大型車は、3,600台/日から6,800台/日に倍増。大型車も引き続き圏央道を利用。開通2年後の八王子JCT～八王子西IC間は、平均で22,000台/日(うち大型車5,500台/日)が利用

■ 圏央道(青梅IC～入間IC)の利用交通量



平成19年6月23日圏央道(八王子JCT～あきる野IC)開通
平成19年8月1日料金割引社会実験開始
平成20年3月29日圏央道(鶴ヶ島JCT～川島IC)開通

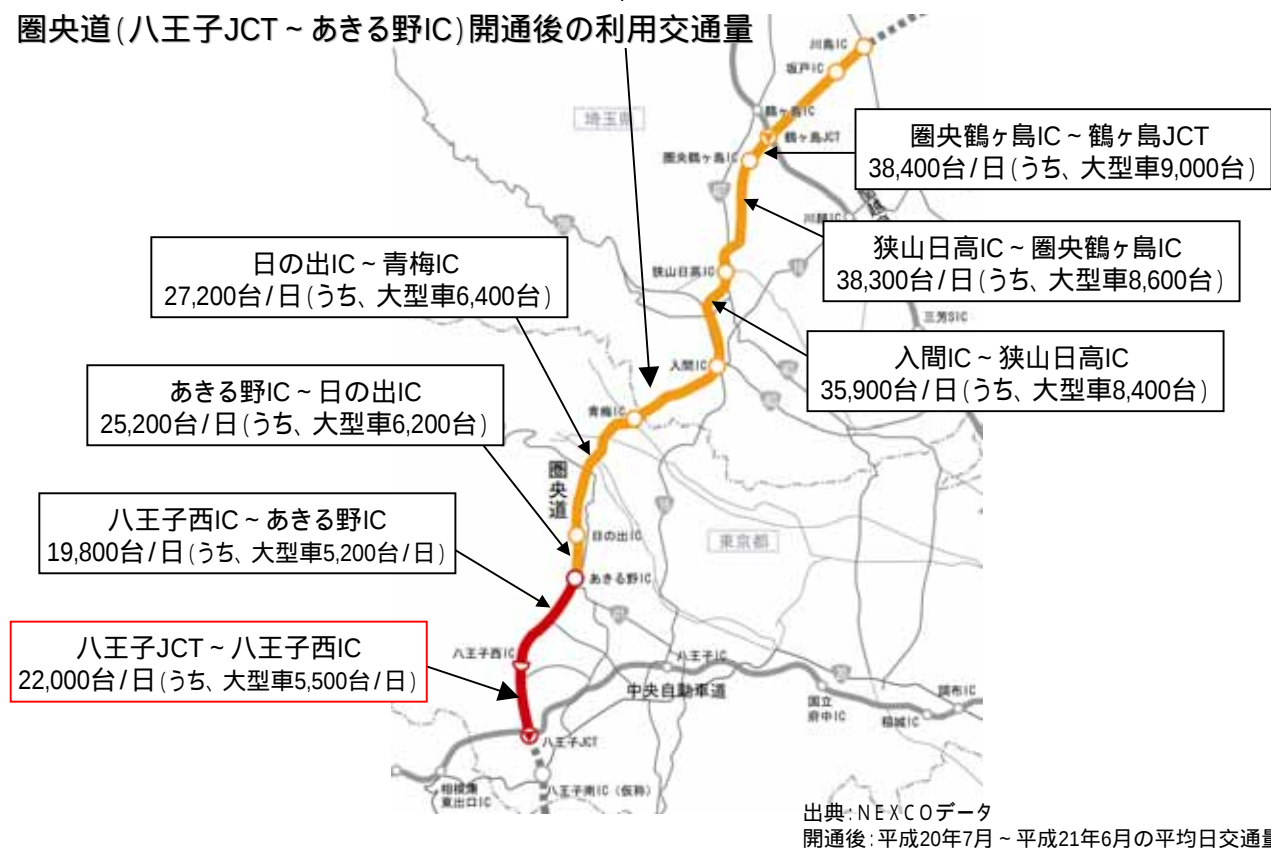
出典: NEXCOデータ

H8～H18: 年度平均日交通量

開通1年後: 平成19年7月～平成20年6月の平均日交通量

開通2年後: 平成20年7月～平成21年6月の平均日交通量

■ 圏央道(八王子JCT～あきる野IC)開通後の利用交通量



- 圏央道(八王子JCT～八王子西IC)の平均交通量(21,700台/日)の約4割(9,200台/日)が中央道～関越道間を連続利用しています。(放射道路の関越道と中央道とを結ぶ環状道路としての利用が継続している。)

■ 中央道～関越道間の交通流動

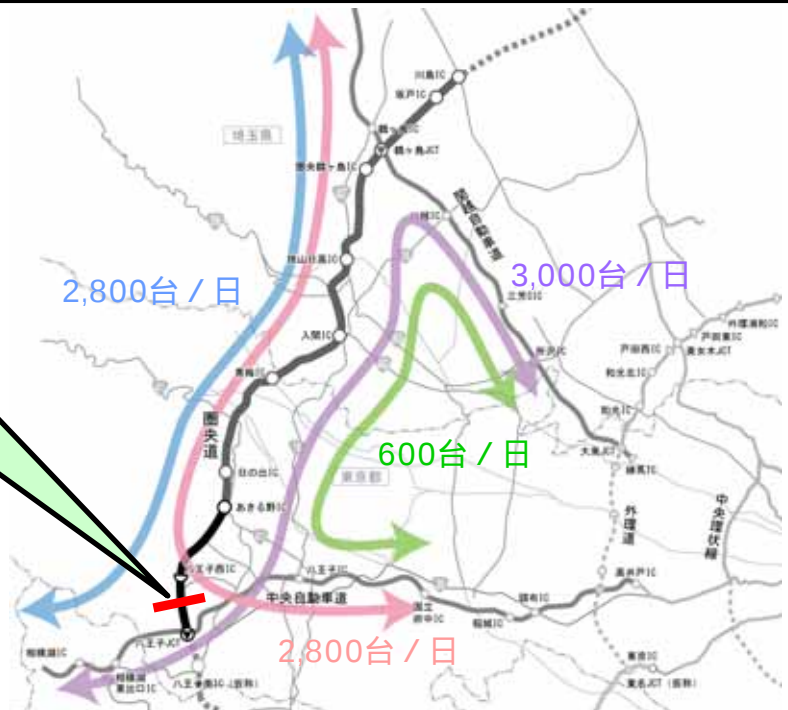
八王子JCT～八王子西IC間の断面平均交通量 約21,700台/日
(うち中央道～関越道間の連続利用台数は、約9,200台/日(約4割))

・参考データ

坂戸IC、川島ICから中央道間の連続利用台数は、約1,200台/日
(H20.3.29～H21.6.30の平均日交通量)

出典：NEXCOデータ

平成19年7月～平成21年6月の平均日交通量



- 圏央道に並行する国道16号の大型車が減少し、渋滞緩和の効果が継続して現れています。
- ・ 大型車の交通量が、国道16号の昭島市小荷田交差点では、圏央道の開通前に比べ約3,100台(約18%)減少しています。

■ 並行する国道の交通量の変化(昭島市小荷田交差点の状況)

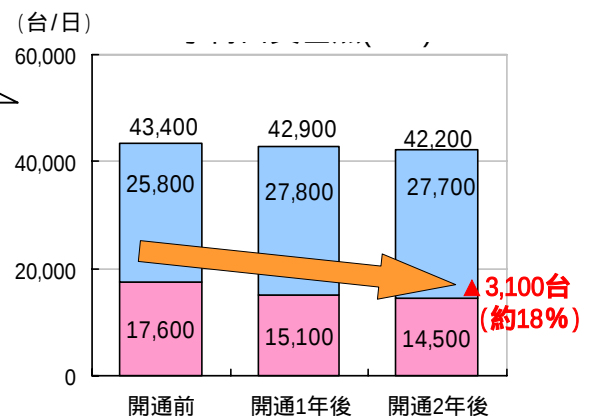


(H19.6.13 8時頃撮影)



(H21.7.9 8時頃撮影)

国道16号 小荷田交差点
交通量の比較



出典：国土交通省データ

開通前：平成19年6月13日

開通1年後：平成20年6月24日

開通2年後：平成21年7月9日

■ 地域の産業の活性化や雇用の創出に貢献しています。

- ・ 圏央道沿線地域への企業の立地や大型店舗の出店により地域の雇用が創出され、周辺市町村の活性化に貢献しています。
- ・ 大型店舗の出店により得られた固定資産税により高齢者の医療費を支援する条例が制定されるなど、地域住民の暮らしへの効果が、ますます広がっています。

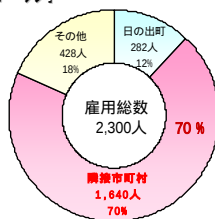


日の出IC

■ 圏央道の整備により大型企業の進出が図られ、町の固定資産税等の財政収入が増加し、後期高齢者医療制度の自己負担分(原則1割)を全額補助

インターチェンジと一体となった「大型ショッピングモール」

- 地域雇用の創出に大きく貢献
 - ・ 2,300人の雇用を創出
 - ・ 日の出町のみならず、周辺市町村の雇用創出にも貢献(隣接地域へ効果が波及)
雇用総数の70%の方が隣接市町村



日の出町に大きな税収をもたらしている「イオンモール日の出」

- 地域の活性化に寄与
 - ・ 大型ショッピングモール開業以降、毎日約2~3万人が来場
来客者の約8割は自動車による来場
「イオンモール日の出」のヒアリング結果

圏央道の整備により大型企業の進出が図られ、

町の固定資産税等の財政収入が倍増

日の出町「日本一お年寄りにやさしい町づくり宣言」

日の出町は、「日の出町お年寄りにやさしい福祉基本条例」を施行

【内 容】・後期高齢者医療制度の自己負担分(原則1割)を全額補助

窓口医療費負担総額: 約8,500万円

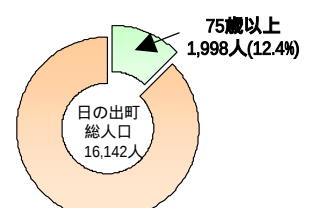
・75歳時の人間ドック受診費用を全額補助

人間ドック受診料総額: 約240万円

【対 象】75歳以上の町民(所得制限は設けない)

:平成20年12月に条例可決、平成21年4月から施行

財源は「イオンモール日の出」による固定資産税増収分(約3億円:平成20年度)及び周辺住宅整備等、同施設の波及効果による増収分5,000万円による。



日の出町 人口データ
(平成21年6月1日時点)

- 「圏央道八王子西インターチェンジ」のフルインターチェンジ化に向けた検討をしています。
- ・ 八王子市、国土交通省相武国道事務所、中日本高速道路㈱、東京都は、八王子西インターチェンジ周辺における物流拠点をはじめとした開発計画や周辺道路網の状況を勘案し、「圏央道八王子西インターチェンジのフルインターチェンジ化に関する勉強会」において、検討を行っています。



【八王子西インターチェンジの位置図】



【八王子西インターチェンジの状況】
〔中央道方向のみ出入り可能なハーフインターチェンジ〕

■ 検討結果

- ・ 圏央道（中央道～関越道間）の開通、市の物流拠点整備計画やまちづくり計画等、八王子西インターチェンジの都市計画時点と比べ周辺地域を取り巻く交通需要や社会情勢が大きく変化していくことが予想されることを確認した。
- ・ 市の物流拠点整備計画やまちづくり計画等の今後の進捗に伴い、関越道方面への新たな交通量が予想されることから、フルインターチェンジ化による一定の整備効果等を確認できるものと考えられる。

（参考）

第1回勉強会：平成21年1月29日

■ 検討内容

都市計画決定時における八王子西インターチェンジの位置付けについて
圏央道の利用状況や物流拠点整備事業等に関する最近の状況について
フルインターチェンジ化の要望について
八王子西インターチェンジの現在の役割や今後のあり方に関する検討の必要性について
まちづくりとの調整や周辺道路網の状況を勘案することの重要性について

第2回勉強会：平成22年1月7日

■ 検討内容

八王子市内における各インターチェンジの整備経緯・考え方について
八王子西インターチェンジ周辺におけるまちづくりの現状について
八王子川口地区物流拠点整備事業の基本計画（案）について
フルインターチェンジ化による整備効果等の確認について